

山梨県立美術館協議会資料

令和元年10月25日(金)

山梨県立美術館

目次	ページ
<u>山梨県立美術館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県立美術館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立美術館活動報告(概要)</u>	6
<u>観覧者数の推移</u>	7
<u>施設利用者の状況</u>	8
<u>平成30～令和元年度 特別展等一覧</u>	9
<u>教育課程の実施状況について</u>	10
<u>指定管理者活動報告</u>	16

山梨県立美術館協議会委員名簿

任期:平成30年10月1日～令和2年9月30日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	ほさか 保坂 かずひと 一仁	山梨県市町村教育委員会連合会代表(副会長)	社会教育関係 (甲州市教育長)
"	しおじま 塩島 あけみ 明美	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (市川三郷町社会教育委員)
"	むこうやま 向山 ふじお 富士雄	南アルプス市立美術館館長	学識経験者 (南アルプス市立美術館館長)
"	つるた 鶴田 いちよう 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	ふるや 古屋 ともこ 知子	元山梨県教育委員会教育委員長	学識経験者 (元山梨県教育委員会教育委員長)
"	ほさか 保坂 ひろし 博司	山梨美術協会代表	学識経験者 (山梨美術協会代表)
"	たかの 高野 まごさえもん 孫左エ門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長	学識経験者 (株式会社吉字屋本店代表取締役社長)
"	のぐち 野口 えいち 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	はらだ 原田 ゆきひこ 由起彦	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	つじむら 辻村 かずと 和人	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	しまづ 島津 くみこ 久美子	山梨県立美術館協力会代表	学識経験者 (山梨県立美術館協力会副会長)
"	おざわ 小澤 ともこ 智子	公募委員	家庭教育関係者
"	かわぐち 川口 そのこ 園子	公募委員	家庭教育関係者
任命	のなか 野中 るみ子	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (甲府市立石田小学校校長)
"	てしま 手島 としき 俊樹	山梨県高等学校長協会代表	学校教育関係 (県立甲府西高等学校校長)

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。（会長等）

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和三十六年法律第二百八十五号）第二十条第三項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	三年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋） 山梨県教育委員会規則第十一号
（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（意見の陳述）

第九条 関係職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年二回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

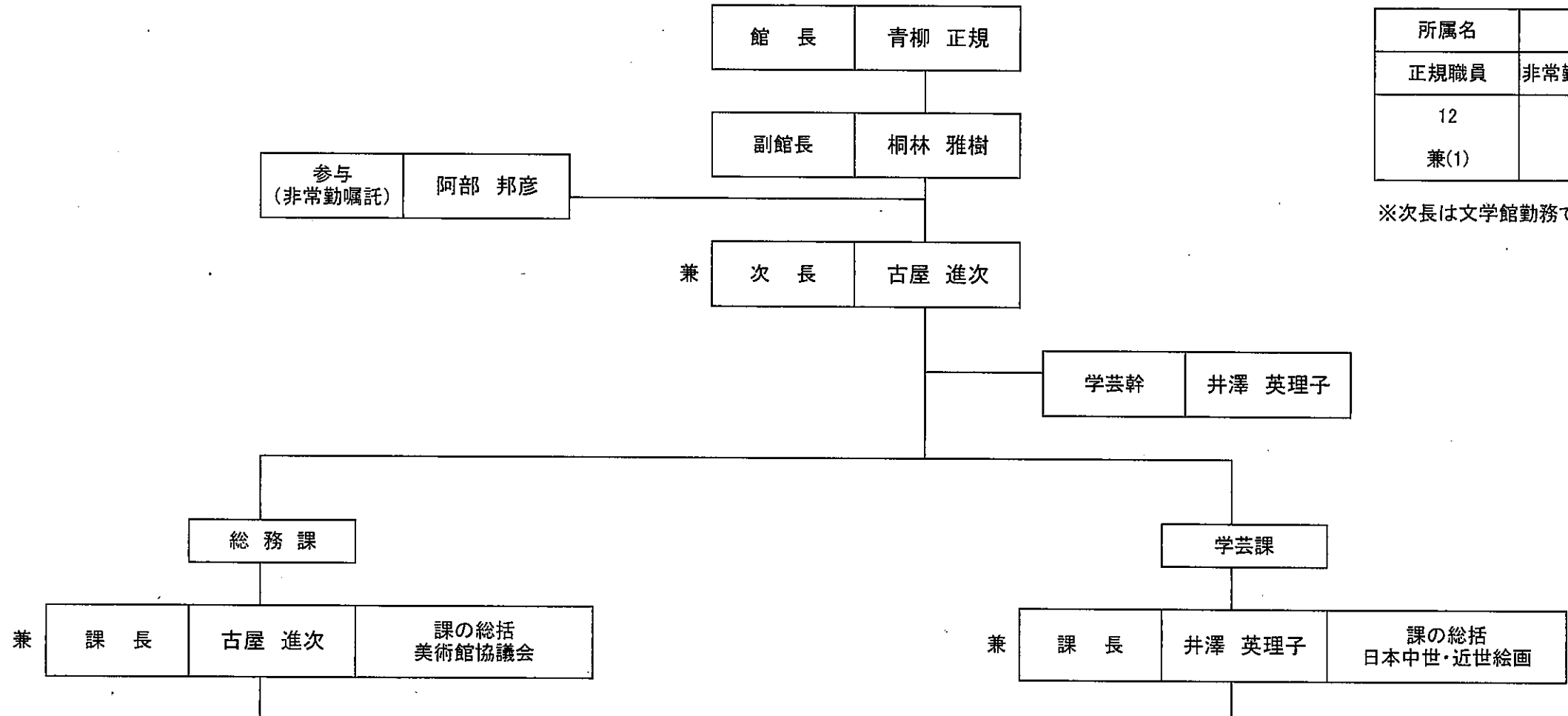
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

美術館組織図

令和元年10月1日現在

所属名	県立美術館		
正規職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	計
12 兼(1)	7		19 兼(1)

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務



職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主査	進藤 真行	担当の総括 予算管理
主事	高山 慎之介	会計・経理 旅費・福利
非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合・互助会

学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	平林 彰	担当の総括 日本近世・近代絵画
学芸員	太田 智子	西洋近代絵画、現代美術
学芸員	小坂井 玲	西洋近代絵画
学芸員	森川 もなみ	西洋・日本近代美術
学芸員	下東 佳那	日本現代美術・現代洋画
非常勤 嘱託	雨宮 千鶴	学芸補助
非常勤 嘱託	伊藤 茜	学芸事務
非常勤 嘱託	外園 椋	学芸事務

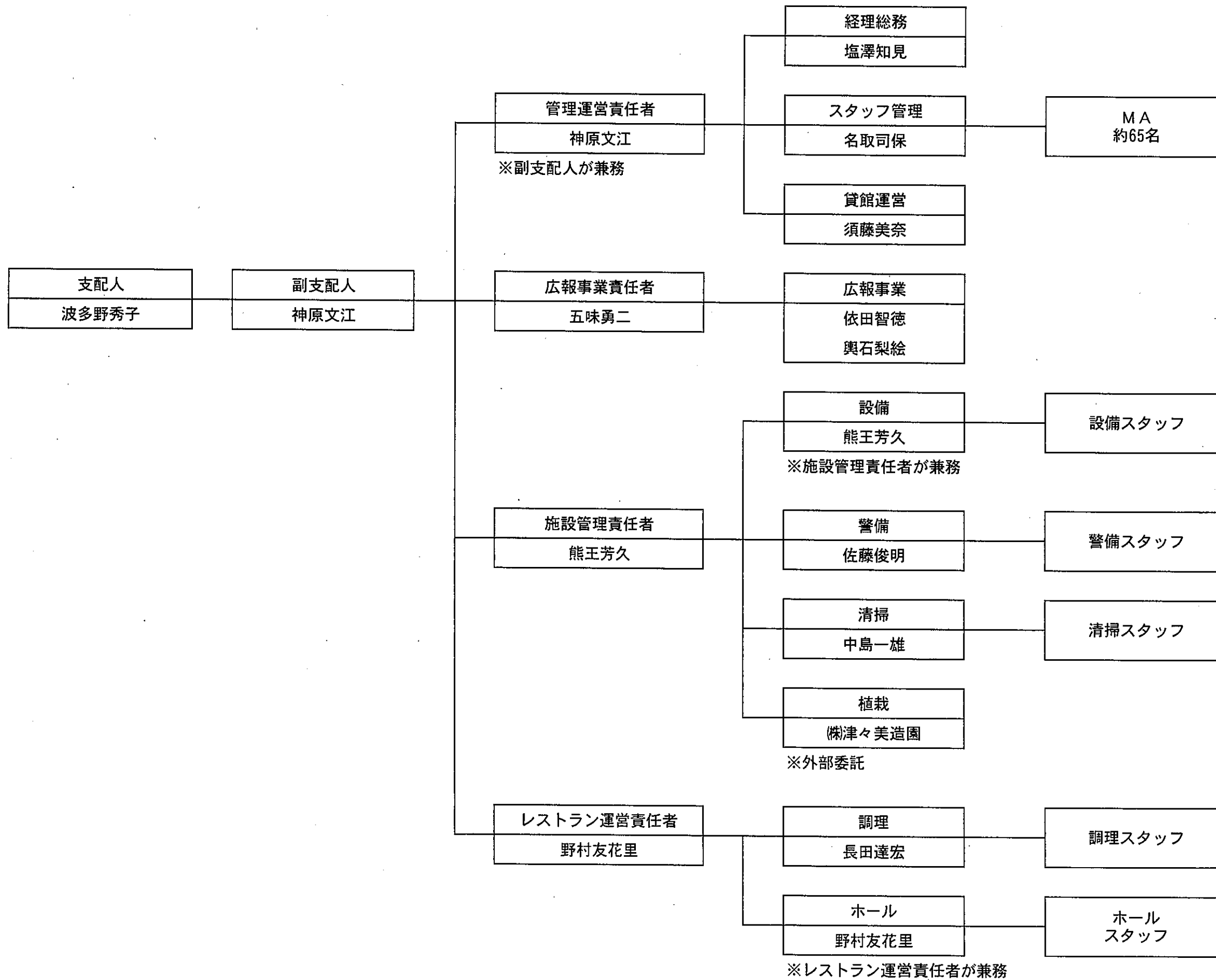
普及担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	高野 早代子	担当の総括 県関係作家、保存
主幹・ 教育主事	小俣 直喜	美術館教育
主査・ 教育主事	瀧澤 智子	美術館教育
非常勤 嘱託	藤木 成弘	協力員指導

美術館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	小杉 佳子	協力会経理
協力会 職員	矢崎 理江	協力会経理

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務



山梨県立美術館活動報告（概要） 令和元年度

美術館活動における長期目標

○県民の美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため以下のような長期目標を掲げる。

【展示／見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などのコレクションを使った常設企画展示の一層の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともない、より多様な学習機会の提供を行う。

【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行う。

令和元年度前期の活動の状況

【展示／見る】・多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力あるコレクション展を開催する。

〈コレクション展〉

・魅力的なコレクション展をめざし、テーマ性を打ち出した企画展示を年4回行う。

春季「新収蔵 野口コレクションの精華」「春から初夏へ」「萩原英雄の「平成」

夏季「コレクションの「住む」！」「夏の情景」「円形にみる「生命」と「エネルギー」

秋季「働く人々」「秋の情景」「三人の日本画家」「宮沢賢治・深沢幸雄・清原啓子」

・「ミレー館」の開設以降、集客を維持するための魅力を改めて県外にPRするための積極的な広報活動の実施

秋季特別企画「ゴッホがみつめた「ミレー」」9月25日（水）～12月8日（日）

※ミレー《種をまく人》をゴッホ美術館（オランダ）で開催される「ジャン＝フランソワ・ミレー：モダン・アートの種をまく人」展へ出品。貸出期間：9月25日（水）～令和2年1月下旬

〈特別展〉 ※別紙「R1（2019）年度 特別展概要」参照

・デザイン あ 展 in YAMANASHI

4月13日（土）～6月9日（日）

・黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた夕日・夕景

6月22日（土）～8月25日（日）

・萩尾望都SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく

9月7日（土）～11月4日（月・振休）

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

県民のニーズに対応した美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者、障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。

学校と連携して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への鑑賞教育・実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。

美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

〈活動内容〉

・みんなでつくる美術館（みなび） 美術館に「住む」？「家公開」、「村上慧の映像展」、お部屋を飾ろう、「つくる」って何？挑戦してみよう！線から糸へ

・キッズプログラム（小中高生対応） ・校外学習対応として展示室での鑑賞、実技体験及び職場体験活動

・学校への出前授業 ・アートボックスの貸し出し・アートカードのレクチャー ・造形広場 ・創作教室

・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座

・ことぶき勸学院への協力（総務課対応） ・ギャラリー・トーク ・映画会

・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】〈魅力あふれる美術館をめざして〉

〈質の高いサービス提供〉

・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。

〈様々な付加価値の創造〉

・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。（SPS）

・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。

・ミュージアム甲斐 in 券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。

・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。（SPS）

・芸術文化のまちづくりでNPOを支援＝アートの街貫川フェスティバル後援

〈県・指定管理者・県民との円滑なリレーションシップ〉

・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。

・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。

・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

〈広報展開〉

・美術館のイメージアップとなり、周知や来館を促すような、中長期的視点から「種をまく 世界がひらく」をキャッチコピーとして、新たな《種をまく人》のデザインとともに広報展開。

令和元年度後期の具体的活動予定と中期目標

1、山梨の美術を再検証するとともに、郷土関係作家の新たな展覧会を企画立案する。

2、様々なジャンルや時代・国の美術を紹介する特別展をバランス良く展開する。

3、アンケート調査などを取り入れ、県民ニーズ等の把握に積極的に取り組み集客力の向上を図る。

4、広報活動の強化。

【展示／見る】

・開催趣旨と目標（集客、研究、人気もの etc）を明確にした企画展の開催と、リピーターとして何度も美術館に行きたくなるような魅力あるコレクション展示の創出を図る。

〈コレクション展〉

従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。

・ミレー館・テーマ展示室・萩原記念室を使った年4回の展示替えを実施。

・テーマ展示や新設コーナーを設け、特別展のようなタイトルを付けるなど、興味を持って鑑賞してもらえるような工夫や配慮し、積極的に広報する。（特にテーマ展示室）

冬季特別企画「藤田嗣治：『黙示録』三連作の謎」12月10日（火）～令和2年3月8日（日）

春季特別企画「シャガール：《花束》に込めた想い」令和2年3月17日（火）～5月下旬

※ミレー《落ち穂拾い、夏》をセントルイス美術館（アメリカ）で開催される「ジャン＝フランソワ・ミレー：モダン・アートの種をまく人」展へ出品。貸出期間：令和2年1月下旬～5月下旬

〈特別展〉※別紙「R1（2019）年度 特別展概要」参照

・現代日本の工芸 国際交流基金寄託作品と山梨の工芸 11月16日（土）～令和2年1月13日（月・祝）

〈キュレーターズ・アイ〉

・長谷川創展 11月6日（水）～令和2年1月5日（日）

〈コレクション企画展〉

・野口コレクション〔予定〕 令和2年2月8日（土）～3月8日（日）

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

・アート・カードを導入した、新たな作品鑑賞の「見るヒント」「感じるヒント」の一助になる実践を紹介。

・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。

・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。

・学校と連携して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

〈活動内容〉

「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」

・キッズプログラム（小中高生対応） ・映画会 ・職場体験授業 ・校外学習への対応（オリエンテーション、展示室での鑑賞、実技体験） ・ギャラリートーク ・学校への出前授業 ・アートボックス貸出

・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場 ・みんなでつくる美術館（みなび） ・教師のための鑑賞研究会

・大人のための美術講座 ・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・ギャラリー・トーク

・アート・カードのレクチャー及び貸出

「地域との連携強化」

・美術館周辺校との連携（新田小学校の総合学習の時間を利用したギャラリー・トークの実施）。

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。

・質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア（案内、解説、情報 etc.）のスキルアップに務める。

・様々な付加価値の創造に継続して取り組む。

・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。

・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。

・県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。

・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

▶▶▶▶▶これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

山梨県立美術館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展	特別展・新収蔵品展等	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,803	175,053
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	306	97,569	59,204	156,773
26	308	137,316	112,138	249,454
27	307	97,675	103,380	201,055
28	306	80,474	68,718	149,192
29	305	76,898	67,127	144,025
30	303	90,090	106,226	196,316
計	12,094	9,693,029	3,828,651	13,521,680

令和元年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	8,375
5	27	11,441
6	26	7,243
7	26	6,788
8	28	10,212
9		
10		
11		
12		
1		
2		
3		
計	133	44,059

前年同期比 101.9%

特別展・新収蔵品展等 (R1年8月まで)

展覧会名	開催日数	観覧者数
デザインあ展	51	81,566
黄昏の絵画たち	57	16,904
萩尾望都SF原画展	51	
現代日本の工芸展	45	
R1新収蔵品展		
	204	98,470

平成30年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,541
5	27	8,156
6	26	6,781
7	26	8,471
8	28	13,281
9	26	8,572
10	26	9,050
11	26	12,965
12	21	4,855
1	26	3,796
2	24	3,361
3	21	4,261
年度計	303	90,090

8月まで計	133	43,230
-------	-----	--------

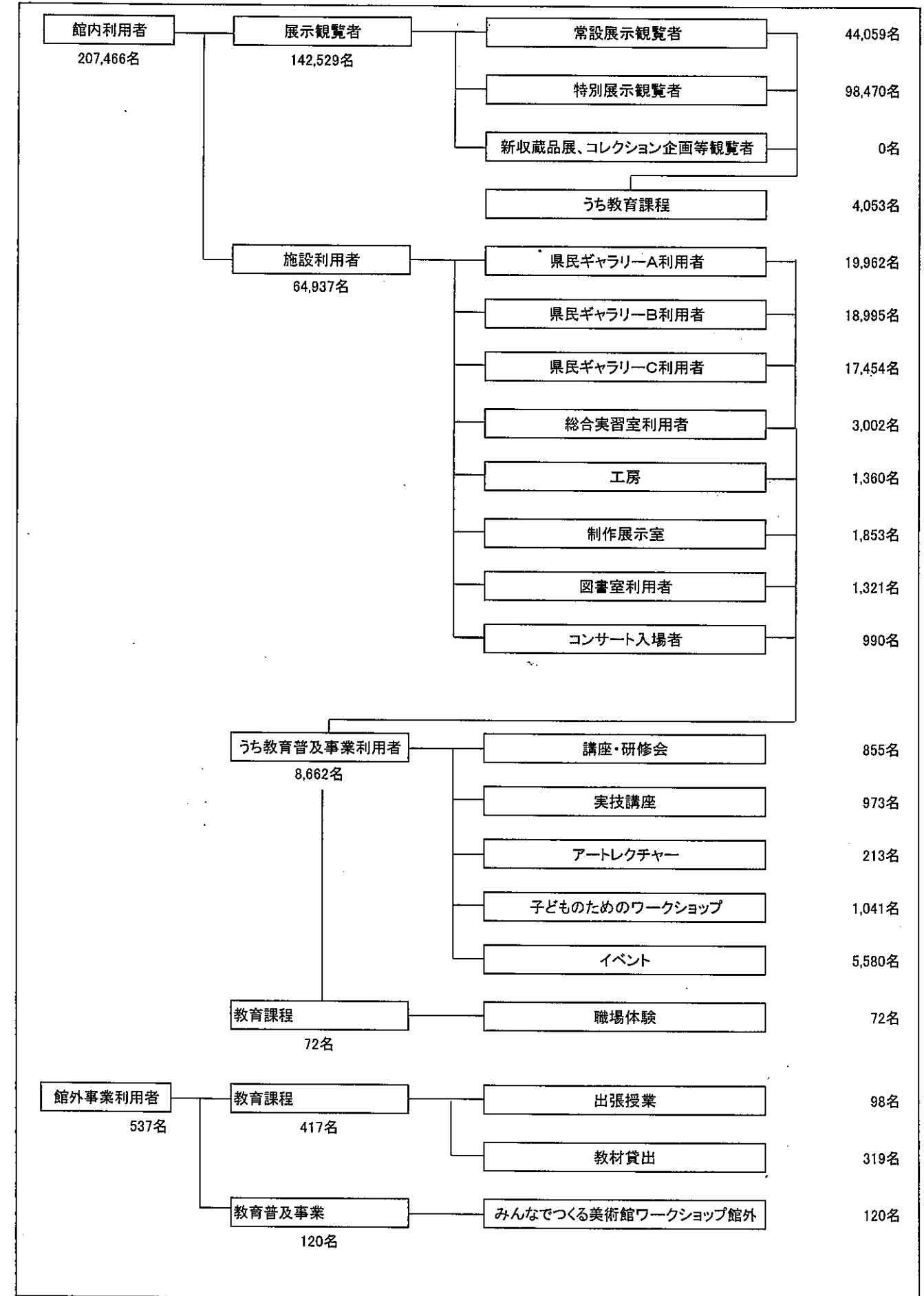
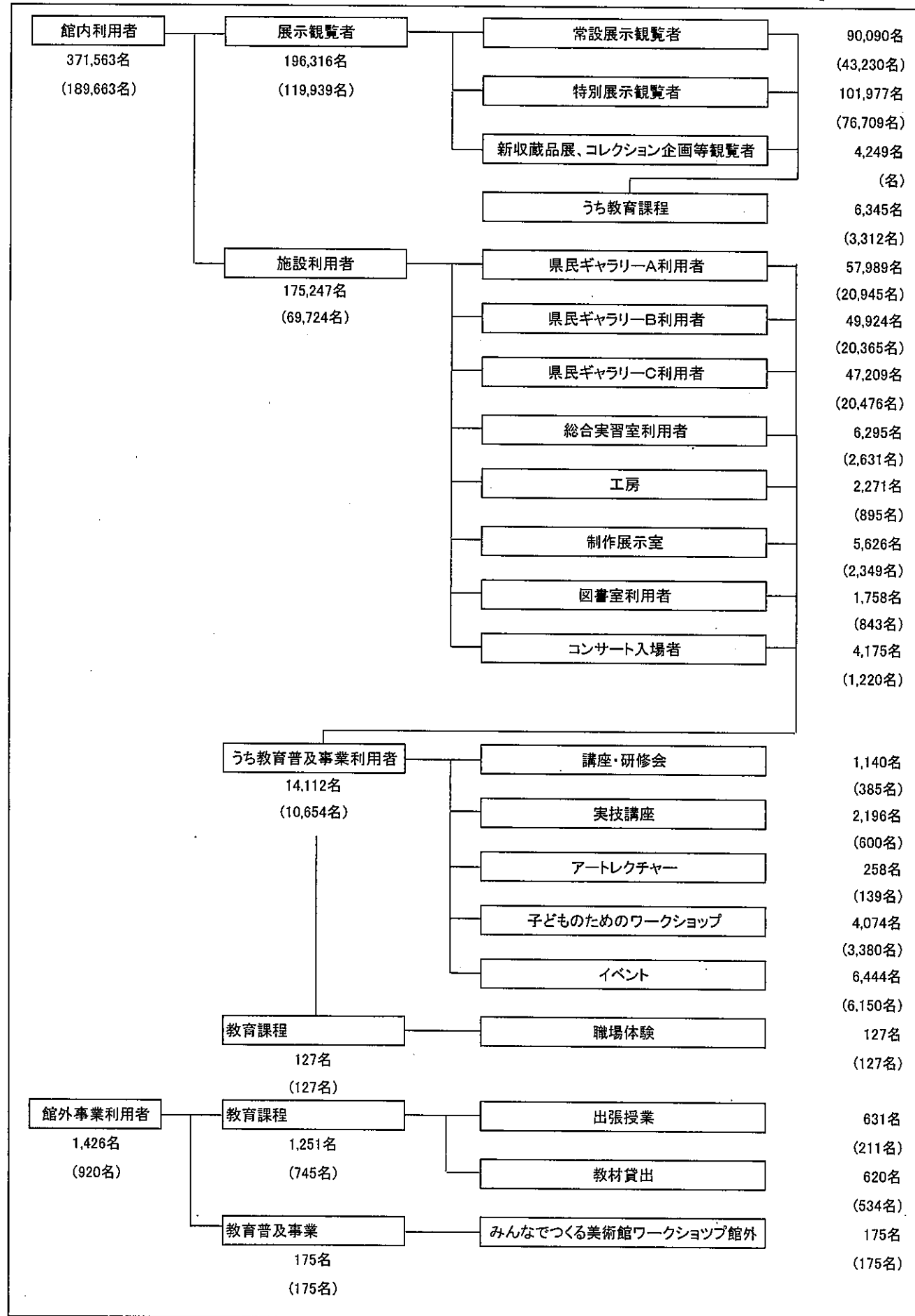
特別展・新収蔵品展等 (H30年度)

展覧会名	開催日数	観覧者数
佐野洋子展	51	18,849
魔法の美術館	51	57,860
深沢幸雄展	33	5,898
ドービーニー展	50	19,370
H30新収蔵品展	26	4,249
	211	106,226

美術館における「利用者」の状況

平成30年度実績。()は8月末現在

令和元年8月末現在



○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

H30(2018)年度					R1(2019)年度			
名称	佐野洋子の世界展	魔法の美術館展	追悼 深沢幸雄展	シャルル=フランソワ・ドービニー 展	デザイン あ 展 in YAMANASHI	黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた夕日・夕景	萩尾望都SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく	現代日本の工芸 国際交流基金寄託作品と山梨の工芸
会期	2018年4月21日(土) ～6月17日(日)	6月30日(土) ～8月26日(日)	9月1日(土) ～10月8日(月・祝)	10月20日(土) ～12月16日(日)	2019年4月13日(土) ～6月9日(日)	6月22日(土) ～8月25日(日)	9月7日(土) ～11月4日(月・祝)	11月16日(土) ～2020年1月13日(日)
展示内容	出版40周年を迎えた佐野洋子作『100万回生きたねこ』は、世代を超えて読み継がれている大ロングセラーの絵本。佐野は、第二次世界大戦終戦後、山梨在住の叔父のもとに一家で身を寄せ、子供時代の3年ほどを過ごした。本展では同書を中心に、代表的な絵本やエッセイの原画、版画作品を展示することで、絵本作家・エッセイスト佐野洋子のユニークで豊かな世界を紹介する。	見て、触って、遊んで、学べる体感型メディア・アートの展覧会。体を動かすことで音や光をダイナミックに操ることができる作品や、絵本の世界に迷い込んだような幻想的な作品など、鑑賞する人が積極的に関わることで初めて完成する作品を中心に展示する。光と影が織りなす魔法のアートの世界を、子どもから大人まで、誰でも直感的に楽しめる新しい形の展覧会となる。	2017年1月に死去した深沢幸雄は、1924(大正13)年に山梨県南巨摩郡増穂町(現、富士川町)に生まれ、長く日本を代表する銅版画家の一人として活躍した。本展は、深沢本人が残してきた詩(言葉)を核とし、深沢芸術の検証を試みる。銅版画の代表作を中心に、ノートやスケッチブックなどの資料もあわせて紹介することで、多くの人に愛される深沢芸術の魅力に、深く迫る機会となる。	ドービニー(1817-1878)は画業の早い時期から戸外での制作をおこない、自然が見せる美しさを主題として制作し続け、カラーと共に同時代から高い評価を確立した。その後も新たな表現を探求し、より大胆で瑞々しい画風を展開し、印象派の先駆者として位置づけられている。開館40周年、また画家の没後140年を記念する本展は、ドービニーの画業に焦点をあてる国内初の展覧会となる。	こどもたちのデザイン的思考を育むことをねらいにNHK Eテレで放送されている番組「デザインあ」のコンセプトを、実際の体験に発展させる。身のまわりに意識を向け(みる)、どのような問題があるかを探り出し(考える)、よりよい状況を生み出す(つくる)という一連の思考力と感性、すなわち「デザインマインド」を多彩な作品を通して体験してもらう。	「夕日・夕景」のモチーフに着目し、東西両洋の画家たちの表現を照会する。独特の光の移ろいや、情緒あるこの時刻の表情は、多くの画家たちの心を捉え続けてきた。19世紀から20世紀にかけての西洋と、その影響を受けながら独自の風景表現を生み出そうとした近代日本を中心に、多様な表現を紹介する。	「少女漫画の神様」とも称され、『ポーの一族』『11人がいる』『スター・レッド』などの傑作を生んだ萩尾望都。本展では、デビュー50周年を記念し、SF作品から選出したカラーイラスト原画や漫画原稿を展示します。当館としては初の漫画展となり、漫画を芸術の一分野として捉え直す新たな試みとなる。	国際交流基金所蔵の工芸作品は、10年近くかけて世界各国で展示された後、2016年度に当館へ寄託された。本展では人間国宝6人を含む、現代日本を代表する工芸家の作品60点余りを展示する。またその合わせて山梨ゆかりの工芸家の作品も紹介する。
画像	100万回生きたねこ 				デザイン あ 展		HAGIO MOTO SF 萩尾望都SF原画展 	
キャプション	『100万回生きたねこ』表紙	坪倉輝明《七色小道》	《ブルネット・ラティーニ/ダンテ『神曲』(地獄篇)より》1956年 山梨県立美術館蔵	《オワーズ河畔》1862年 ランス美術館蔵		ジャン=バティスト=カミーユ・コロア《舟渡し、ドゥエ近郊》島根県立美術館蔵		松田百合子《注器、デミタス碗皿》1992年 国際交流基金蔵

教育課程における入館者数まとめ

◎平成30年4月1日～平成31年3月31日

	校数	生徒数
小学校	40	1,409
中学校	28	579
高校	19	1,586
その他	42	2,045
計	129	5,619

◎平成31年4月1日～令和元年8月31日

	校数	生徒数
小学校	13	447
中学校	48	1,069
高校	14	817
その他	26	1,113
計	101	3,446

地域	校種	利用学校数
甲府	小学校	10
	中学校	1
	高等学校	7
	その他	5
中巨摩	小学校	0
	中学校	18
	高等学校	1
	その他	0
東山梨	小学校	0
	中学校	1
	高等学校	1
	その他	1
東八代	小学校	0
	中学校	3
	高等学校	0
	その他	2
南巨摩	小学校	1
	中学校	4
	高等学校	0
	その他	0
北巨摩	小学校	0
	中学校	10
	高等学校	1
	その他	0
北都留	小学校	0
	中学校	3
	高等学校	0
	その他	0
南都留	小学校	1
	中学校	5
	高等学校	0
	その他	0
県外	小学校	1
	中学校	3
	高等学校	4
	その他	7
その他	その他	11

101

こども美術館

～ 山梨県立科学館コラボ企画 ～

ペットボトルで夕日を作ろう!

夕日はなぜ赤い?楽しい実験と展覧会鑑賞を通して、夕日の秘密に迫ります。夏休みの自由研究にもピッタリです。

日時

8月9日(金)

①10:30～11:30

②13:30～14:30

講師

櫻井英雄氏
市川大陸氏

(山梨県立科学館職員)

場所

ワークショップ室
特別展示室

対象

小学生・中学生

(小学1～3年生は保護者同伴)

定員

各回 保護者を含めて30名
(参加無料)

申込方法: 電話にてお申し込みください

希望時間: 全員の氏名(付き添いの方も含む)、年齢(学年)、電話番号をお知らせください。

(申し込まれた方の個人情報(は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。))


申込期間: 6月22日(土)～8月2日(金) 9:00～17:00

問合わせ・申込先: 山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係

Tel: 055-228-3322 Fax: 055-228-3324

山梨県立美術館 美術体験・実技講座

様々な美術表現が体験できるプログラムです。初めて挑戦される方のための初心者講座、技術を深めてみたい方には実技講座を開設します。また、もう少し気軽に創る喜びに接していただけるように、障がいをお持ちの方、幼児など、どなたでも参加できる「わかば講座」(旧、障がい者のための講座)もありますので、ご利用ください。その他、制作場所や、版画プレス機などを提供するオープンアトリエ(別表)もご活用ください。

No.	講座名/講師	内容・期間(日時)	申込期間
1	現代美術 「みなびプロジェクト」	今年度の参加型展覧会「みなび(みんなで作る美術館)」は、現代美術作家の村上憲氏を迎え、「美術館に「住む」。」をテーマに開催します。現代美術の実技講座では、みなび開催に向けて村上氏と取り組んでいきます。村上氏は絵本「家をせおって歩く」(福音館書店)の著者です。 	
	①作家の話を聴こう	村上憲氏の「家をせおって歩く」の楽しいトークイベントです。「みなび」では、美術館内に参加者の心地よい居場所(部屋)や家をつくって設置するので、その説明会も行います(②の講座)。 5月19日(日) 午後1:30~3:30 場所:講堂	①申込不要・受講無料(現代美術実技講座を受講しない方も参加可)
2	②美術館に心地よい居場所をつくらう	美術館内に自分の居場所(部屋)や家をつくってみませんか。「みなび」ではそれらを一般公開します(7月27日~8月2日)。(詳しくは、みなびチラシ、美術館ホームページをご覧ください) 作家指導日:7月7日(日)・14日(日)・7月21日(日) 午前10:00~午後4:00 作家:村上 憲氏	5月19日~6月30日
	銅版画初心者講座 美術館職員	銅版画に触れ凹版を理解するための初心者講座です。ドライポイント技法で制作します。この初心者講座受講者で「銅版画」講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日:6月2日(日) 午前10:00~午後3:00 材料費約800円	5月11日~17日
3	銅版画 作家:齊藤武士氏	エッチング、アクアテントなど腐食技法で制作します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。(初心者は初心者講座受講者のみ対象です。) 作家指導日:6月16日(日)・22日(土)・23日(日)・30日(日) 午前10:00~午後4:00 ※6月18日(火)~29日(土)は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は6月2日(日)午後3:30~工房にて注文を受け付けます。	5月11日~17日
	わかば講座 (旧、障がい者のための講座) お部屋を飾ろう! 作家:村上憲氏、美術館職員	☆「みなび(みんなで作る美術館)」のワークショップの1つです。障がいをお持ちの方、幼児、大人、あらゆる方に創ることの楽しさを味わっていただきたいと思っております。どなたでも参加できます。 講座日:7月24日(水)・25日(木) ①午前10:00~11:30 ②午後1:30~3:00 場所:県民ギャラリーC 壁面に絵をかいたり、はったり、県民ギャラリーCの中にお気に入りの場所をつくりましょう。 ●保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体でも参加できます。●基本的に申し込みの必要はありませんが特別に配慮の必要な障がいをお持ちの方や、施設、園、学校など団体で参加される場合は事前に参加人数をご連絡ください。	団体参加の場合のみ事前にお申し込みください。
5	リトグラフ 初心者講座 美術館職員	リトグラフの技法に触れ平版を理解するための初心者講座です。この初心者講座受講者で「リトグラフ」講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日:9月1日(日) 午前10:00~午後3:00 材料費約800円 リトグラフデモンストレーション:柏原恵美氏(作家)	8月9日~16日
	リトグラフ 作家:遠藤竜太氏	リトグラフで自分なりの作品を創ってみませんか。作家指導日4回参加できる方を対象とします。(初心者は初心者講座受講者のみ対象です。) 作家指導日:9月15日(日)・22日(日)・28日(土)・29日(日) 午前10:00~午後4:00 ※9月16日(月・祝)~27日(金)は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は9月1日(日)午後3:30~工房にて注文を受け付けます。	8月10日~16日
7	テンペラ画 作家:沓間 宏氏	テンペラ画の歴史と技法を学び、小品を制作します。2日間参加できる方を対象とします。 作家指導日:11月9日(土)・10日(日) 午前10:00~午後4:00 材料費約1,500円	10月12日~18日

8	日本画 作家:目黒祥元氏	日本画はどのような材料を使って描くのでしょうか。初心者には初日に材料など詳しく説明します。経験者は自由制作を中心に行います。 作家指導日:11月24日(日)・30日(土)・12月1日(日)・7日(土)・8日(日) 午前10:00~午後4:00 ※11月26日(火)~12月6日(金)は工房にて自主制作可 *材料購入希望者は11月24日(日)午後3:30~工房にて注文を受け付けます。	11月1日~8日
9	油彩画 作家:横森喜鴻氏	作家の制作に対する考えをうかがいながら、技法の指導を受け制作します。作家指導日4回参加できる方を対象とします。 作家指導日:1月12日(日)・19日(日)・26日(日)・2月2日(日) 午前10:00~午後4:00 ※1月13日(月・祝)~2月1日(土)は工房にて自主制作可	12月18日~24日
10	わかば講座 (旧、障がい者のための講座) 色や形を楽しもう! 美術館職員	色々な形と色を使って遊んでみましょう。 講座日:3月18日(水) ①午前10:00~11:30 ②午後1:30~3:00 ●保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体でも参加できます。●基本的に申し込みの必要はありませんが特別に配慮の必要な障がいをお持ちの方や、施設、園、学校など団体で参加される場合は事前に参加人数をご連絡ください。	団体参加の場合のみ事前にお申し込みください。

オープンアトリエ 実技講座で学んだことを生かし引き続き制作したい方や、版画、油彩、日本画などを専門的に制作している方に制作の場所を提供します。

★オープンアトリエは一度申し込みいただければ、通年でご参加いただけます。
☆作家による指導はありませんが、版画制作者へは指導員が初心者の相談にのります。版画制作者はインク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。

講座名	期間(日時)	申込期間
オープン・アトリエ①	4月2日(火)~5月10日(金) 午前9:00~午後4:30	3月23日~4月10日
オープン・アトリエ②	6月4日(火)~7月5日(金) 午前9:00~午後4:30 9月15日(土)~30日(日)は除く 美術館ニュースNo.84で ~7月7日(日)と記載しましたが、上記に訂正します。	5月25日~6月30日
オープン・アトリエ③	8月20日(火)~9月14日(土) 午前9:00~午後4:30 9月1日(日)、7日(土)は除く	8月11日~18日
オープン・アトリエ④	10月1日(火)~10月30日(水) 午前9:00~午後4:30 10月5日(土)は除く	9月22日~29日
オープン・アトリエ⑤	2月4日(火)~3月1日(日) 午前9:00~午後4:30 2月8日(土)は除く	1月26日~2月2日

- 注意事項**
- 対象は中学生以上(除くNo.1、4)、定員は約20名。初めて講座を受けられる方が優先です。初めての方が多数の場合は、申込期間内に受け付けた方から抽選させていただきます。
 - 受講料は無料です。ただし、別途材料費を必要とする講座もあります。
 - 必要な用具・材料は通知(返信はがき)をご覧ください。各自ご用意ください。初心者コースは、美術館で材料を準備します。
 - 講座終了日には大掃除がありますのでご協力ください。
 - 自主制作可能日やオープンアトリエ中、美術館のイベント等で工房が使用できない日が発生した場合は、事前にお知らせいたしますのでご協力願います。

申し込み方法 往復はがきで申し込み期間内に(消印有効)お申し込みください。
往復面に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名・年齢(学生の場合は学校名・学年) ④電話番号(FAX番号も) ⑤経験の有無を記入してください。
返信面には申込者の〒・住所・氏名を必ず記入してください。
※申し込みされた方の個人情報、本事業のみを目的とし、当館で適切に管理します。
★1~②の講座へ親子で1日参加の場合のみ、電話、Faxでのお申し込みも受け付けます。

申し込み先 山梨県立美術館「美術体験・実技講座」係
〒400-0065 甲府市賈川1-4-27
TEL 055-228-3322(代表) Fax 055-228-3418(学芸課直通)

つくろう！あそぼう！ 造形広場

申込不要
参加無料

協力：山梨学院短期大学保育科 伊藤美輝 氏・学生

5月25日(土)

<一日造形広場>

午前10:00～午後4:00の間はいつでも参加できます

し
「刺しゅうあそび」

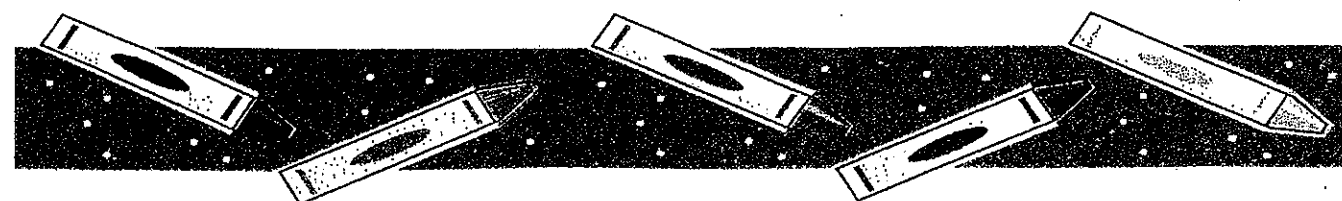
+

はたお
「機織りあそび」

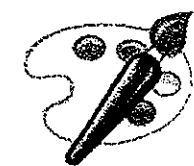
♪場所 山梨県立美術館 ワークショップ室

♪対象 幼児から大人まで(先着100名程度)

★小・中・高等・特別支援学校生は観覧無料です！



つくろう！あそぼう！ 造形広場

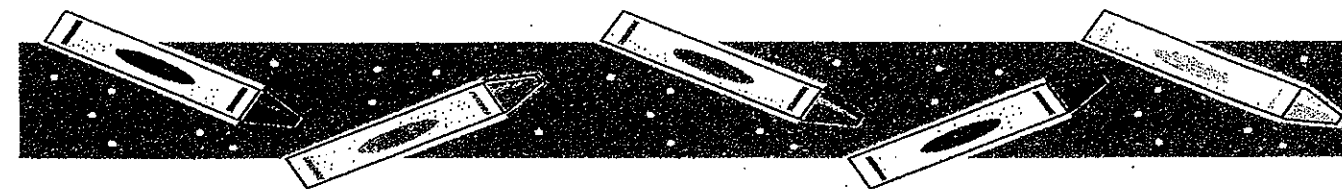


～ これからの予定 ～

- 6月15日 「ぺたぺた絵の具でステンシルあそび」
- 7月6日 「きりこみ、くみこみ、立つ工作あそび」
- 8月10日 「石に針金、くるくる、ぺたぺたでオブジェ作り」
- 9月7日 「のびるぞ、まわるぞ、動く絵だぞ」
- 10月5日 「ヘッドレスで変身遊び」
- 11月2日 「キラキラの絵+宝石箱を作ろう」
- 12月14日 「クリスマスランプシェードを作ろう」
- 1月4日 「ゆめを飛ばそう風づくり」
- 2月8日 「ビリビリ、チョコチョコキ、ペタペタでえがこう」
- 3月21日 「バインド線知っている？針金と〇〇で工作あそび」

<時間> 午後1:30～3:30 (開始時間までにきてね！)

※内容は変更になることもあります※



「みんなでつくる美術館(みなび)」は、
大人も子どもも障がいのある方もだれでも
参加できる参加型展覧会!

みなび
みんなでつくる
びじゅつかん

今年のみなびは、自作した発泡スチロール製の
家とともに移動しながら生活をするプロジェクト
「移住を生活する」など、国内外で活動している
美術家の村上慧氏がメインゲストです。

「みなび」にたくさんの「家」がやってきた!
美術館に「住む」?



入場無料

「家」公開

2019年7月27日(土)～8月1日(木)
休館日 7月29日(月)

公開時間:午前9:30～午後4:00
場所:館内各場所、県民ギャラリーC
美術館内に個性豊かないくつもの「家」が出現!
その家の制作者たちがつくった家に住んで(?)、
お客様をお迎えします。「家」を訪ねて楽しみましょう!
公開中は、毎日ミニワークショップを開催しています。
※制作:山梨学院短期大学保育科 伊藤せみ、専門学校サンテック/カレッジ、県立
浜南高等学校 クラフト科、県立甲府工業高等学校 建築科 建築研究部、県立甲府
第一高等学校 美術部、駿台甲府高等学校 美術デザイン科、徳島造形教室 アトリ
エミズクラ、カワイ造形造形教室と仲間たち、たまご教室、M.Fuji Project、チーム
ジュリア、及井社司(現代美術家)、本杉靖(美術家)、市宮昭広(造園工)、小澤建
雄工師、当館「現代美術講座」(キッズ・プログラム)参加の皆さん

ワークショップ

場所:県民ギャラリーC
「お部屋を飾ろう!」
日時:7月24日(水)・25日(木)
講師:村上慧氏・美術館職員
「つくる」って何?挑戦してみよう!綿から糸へ。
日時:7月27日(土)～8月1日(木)
講師:みらいファームの皆さん
◎詳細はホームページをご覧ください

「村上慧の映像展」

村上氏の作品と活動を紹介します。
日時:7月27日(土)～8月1日(木)
午前9:00～午後5:00
休館日:7月29日(月)
場所:県民ギャラリーC

「小さな家」募集!

小さな家を「みなび」に展示しよう!
将来住みたい家の模型や、ドールハウス、
ぬいぐるみの家、ペットのおうち、鳥小屋
などもOK!大きさ30×30×30cm以内。
家に名前をつけて来てね。
持ち込み日時:7月27日(土)・28日(日)
午前9:00～午後4:00
場所:県民ギャラリーC
公開日:7月27日(土)～8月1日(木)

ボランティア・スタッフ募集中!
詳しくは山梨県立美術館ホームページをご覧ください。

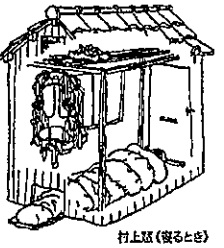
- 主催 みんなでつくる美術館実行委員会・山梨県立美術館
- 後援 山梨県造形教育連合 山梨県社会福祉協議会 NHK甲府放送局 山梨日日新聞社・山梨放送
テレビ山梨 山梨新報社 朝日新聞甲府総局 テレビ朝日甲府支局 産経新聞甲府支局 毎日新聞甲府支局
読売新聞甲府支局 日本ネットワークサービス エフエム富士 エフエム甲府 エフエムハッピ
●協力 (福)さかき全 みらいファーム 河口湖美術館 南アルプス市立美術館 (有)ディスプレイ遠藤 (株)島田プロセス
ベッキン堂 みくに画材店 人なっご・アートワーク 山梨学院大学・短期大学 (株)SPSやまなし サントリーフーズ(株)
甲信細包(株) (株)大直 (株)東日本インク 大塚製菓(株)

種をまく 世界がひろく
山梨県立美術館
Yamanashi Prefectural Museum of Art
みんなでつくる美術館(みなび) 実行委員会事務局
〒400-0065 甲府市西川1-4-27 山梨県立美術館 学芸課内
Tel:055-228-3258 Fax:055-228-3418
http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/

みなび

7月27日(土)～8月1日(木)
休館日 29日(月)
県民ギャラリーC、他
美術館に「住む」?

- 「家」公開
 - 「村上慧の映像展」
- ミニワークショップも毎日開催



●お部屋を飾ろう!

絵をかく、色をぬる、ひもを使うなど工夫して壁面を飾りましょう。
講師:村上慧氏、美術館職員
日時:7月24日(水)・25日(木)
①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00
定員:各回先着70名程度

*施設など団体で参加される場合は、あらかじめ事務局へご連絡ください。
*県立美術館の「わかば講座」と一緒に行います。

みんなでつくる美術館(みなび)
実行委員会事務局
山梨県立美術館 学芸課内
Tel:055-228-3258 Fax:055-228-3418
詳しくは⇒ <http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

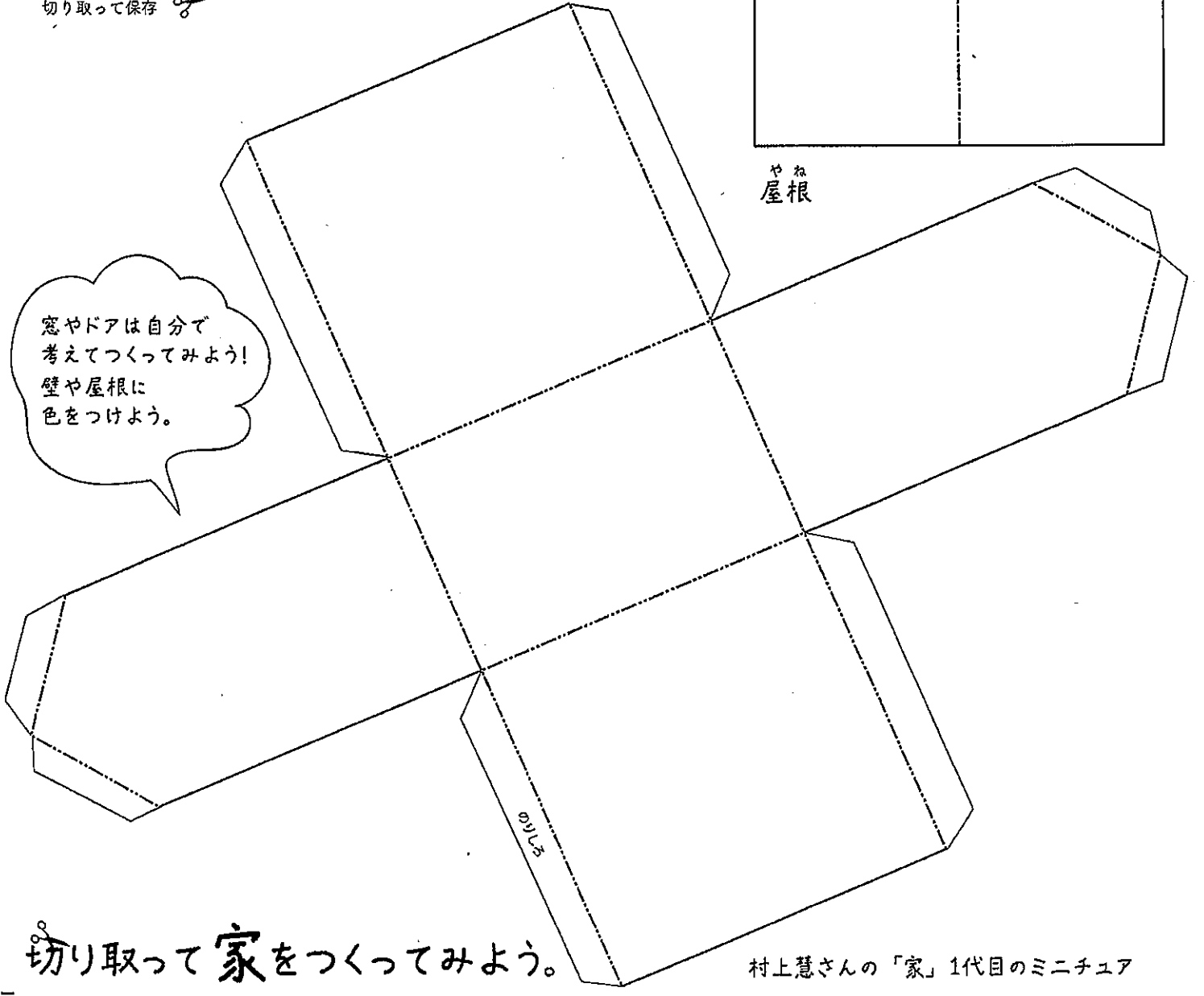
●「つくる」って何?挑戦してみよう!綿から糸へ。

綿から糸ができるプロセスを体験します。
講師:みらいファームの皆さん
日時:7月27日(土)・28日(日) 午後1:30～3:00
7月30日(火)～8月1日(木) 午前11:00～12:30
定員:各回先着10名程度 見学可

○小さな家を「みなび」に展示した皆さんへ

返却は8月1日(木)、2日(金)に展示会場で開館時間内に行います。
来館できない場合は、8月末日までに美術館に取りに来てください。

切り取って保存



切り取って家をつくってみよう。

村上慧さんの「家」1代目のミニチュア



2019年度のみなび（「みんなでつくる美術館」）では「美術館に『住む』？」をテーマに実施します。
参加者が美術館内に「家」をつくり、できた家を互いに訪ねあいます（お宅訪問、「家ほめ」）。
家をつくらずに訪問するだけでもOKです！

そこでまず、

自作した発砲スチロール製の家とともに移動しながら生活をするプロジェクト「移住を生活する」など、国内外で活動している作家の村上慧氏（今年度のみなびメインゲスト）をお迎えして、トークショーを開催します。

そのあと

みなびで「家」をつくるにあたっての説明会も行います。

美術家

村上慧氏 トークショー

むら かみ さとし

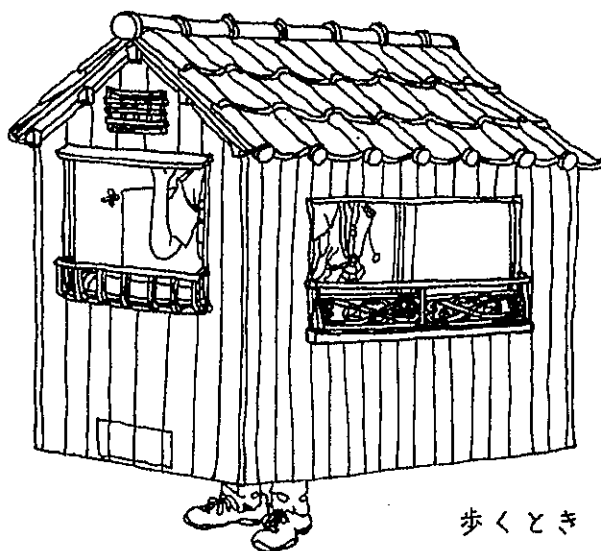
& みなび説明会

●日時：2019年5月19日（日）午後1：30 -

●場所：当館講堂

申込不要・聴講無料

※お車の方は、駐車場でのご滞在が予想されます。
時間に余裕を持ってお越しください。



歩くとき
絵：村上慧

まわりを見渡して自分一人で作れるものってありますか？僕は何も作れません。パソコンなんて全くわかりませんし、紙一枚だってこんな平らで綺麗なものはできません。でも例えば「服をつくれる」という人がいるとして、そのときに使う布や糸や針も作れないといけないなんてことはありません。「つくる」ってなんでしようか。



村上慧：1988年東京都生まれ。2011年、武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。友人と借りたアトリエの鍵を受け取った日に東日本大震災が発生。2014年4月より発砲スチロール製の家に住む。著書に『家をせおって歩く』（福音館書店）、『家をせおって歩いた』（夕出房）がある。「瀬戸内国際芸術祭」(2016)、「風を待たずに - 村上慧、牛嶋均、坂口恭平の實踐」(熊本市現代美術館/2017)、「OpenART Biennale」(Sweden, Orebro/2017)、「変容する家 (東アジア文化都市金沢)」(金沢 21世紀美術館/2018)などに参加。第19回岡本太郎現代芸術賞 (TARO賞) 入選。



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art



美術館に「住む」？



募集！

美術館内に自分の家（居場所）があったら、ワクワクしませんか？
自分だけでなくその家を訪れた人も楽しめる「家」を募集します。

この夏、美術館に「住んで」みませんか？

●みなびで「家」をつくるには、

制作にあたってのルール（後日公表）を守り、以下の方法で参加できます。

また、「家」は一般に公開しますので、誰でもその「家」を訪れることができます。

A・招待参加・・・みなび実行委員会から招待されて制作する。

B・一般参加（①は自由制作、②③は講座に参加して制作）

①「家」制作へエントリーし、計画書を提出する。参加を認められたら制作する。

②美術館の美術体験・実技講座「現代美術」に参加する。

（詳細は美術体験・実技講座の一覧表をご覧ください。）

講師：村上慧氏

3日間…7月7日（日）・14日（日）・21日（日）

③親子向けワークショップに参加する。（電話申込可能）

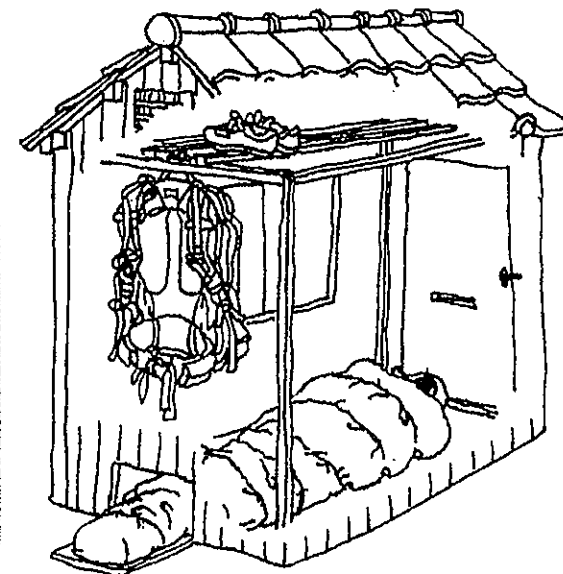
講師：村上慧氏

4日間…7月7日（日）・14日（日）・20日（土）・21日（日）

上記②美術体験・実技講座「現代美術」と同時に行います。

1日のみの参加もOKです。

エントリーしなくても
②③に参加しよう！



寝るとき

公開までのスケジュール
5月19日（日）説明会、村上慧氏のトークショー後
5月19日（日）エントリーおよび上記②③の申し込み開始
6月16日（日）選考結果公表
7月7日（日）～美術館での制作可
（A・Bとも制作場所は、美術館工房、自宅、学校など）
7月20日（土）～26日（金）館内設置
7月27日（日）～8月1日（木）一般公開

みなびボランティアスタッフ募集！

説明会 6月22日（土）午前11：00～ 場所：ワークショップ室

みんなでつくる美術館

美術館に「住む」？

楽しみ方マニュアル

その1 村上慧氏のトークショー（5/19）に参加し、美術館に「家」をつくる。

その2 つくった「家」で訪問者を楽しく迎える。

7月27日（日）～8月1日（木）

その3 いろんな「家」を訪ねて楽しむ（「家ほめ」）

その4 誰でも参加できるワークショップに参加する。どんなワークショップかな？お楽しみに。

問い合わせ先

みんなでつくる美術館（みなび）実行委員会事務局
〒400-0065 甲府市貢川1-4-27 山梨県立美術館 学芸課内
Tel.055-228-3258 Fax.055-228-3418
http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/

令和元年度 上半期美術館協議会

山梨県立美術館 指定管理者
SPS・桔梗屋・KBS共同事業体

目次

- ▶ 1. 指定管理第3期（4年間）の運営方針
- ▶ 2. 新たな魅力の発掘と発信
 - ・展覧会観覧誘致のための広報活動
 - ・観光資源としての魅力アピール
- ▶ 3. 地域連携を通じ文化芸術を拡げる
 - ・賑わいの創出による地域の活性化
- ▶ 4. 安心・安全な施設の維持管理
 - ・共同事業体 新体制
 - ・安定した施設管理
- ▶ 5. 下半期に予定している活動

1. 指定管理第3期の運営方針

指定管理第3期（4年間）の運営方針

- 施設の新たな魅力の発掘と発信
観光資源としての魅力をアピール
県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進
- 地域連携を通じ文化芸術を拡げる
地元企業や団体等との強固な関係構築
賑わいの創出による地域の活性化
- 安心・安全な施設管理の強化
施設維持管理会社が共同事業体へ参画
効果的・効率的で安定した施設管理

指定管理者活動トピックス

2-1 展覧会観覧者誘致のための広報活動

観覧者数 81,566人（予比163%）

特別展「デザイン あ展 in YAMANASHI」

2019年4月13日～6月9日

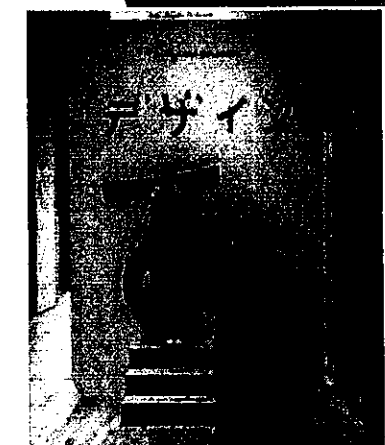
集客ターゲットを見据え、子育て世代がよく閲覧するウェブサイトや子ども向け雑誌への広告掲載、若者が見るSNS(facebook、Instagram)での広報を重点的に実施した。また観覧者数が5万人に達する際に主催者でもあるNHKに連絡し、ニュースで取り上げてもらったことにより次週には2日間で6,000人超えを記録するなど会期終盤に向けて話題を再燃させた。

活用ウェブサイト

- ・子どもとおでかけ情報サイト
「いこーよ！」
- ・kodomoe
- ・fashion press



子ども向けWEB・雑誌掲載



「デザインあ展」再び！
山梨県立美術館で 高校生以下は観覧無料。

Instagram広告

指定管理者活動トピックス

2-1 展覧会観覧者誘致のための広報活動 観覧者数：16,904人（予比95.4%）

特別展「黄昏の絵画たち ～近代絵画に描かれた夕日・
2019年6月22日～8月25日

開幕時には、主催でもあるテレビ山梨の情報番組「ウッティタウン6丁目」に広報担当者が生出演し、翌日は担当学芸員が同番組にて見どころを紹介した。また、次の巡回先が島根県立美術館であることからSPSが指定管理者であることから合同でアート雑誌『芸術新潮』に広告を掲載した。会期中、NHKEテレ番組「日曜美術館アートシーン」への放送枠も獲得し県外からの集客に繋がった。



6/20 ウッティタウン6丁目 出演風景

アート雑誌『芸術新潮』6月号

7/14 「日曜美術館」アートシーン

指定管理者活動トピックス

2-1 展覧会観覧者誘致のための広報活動

特別展「萩尾望都 SF原画展 ～宇宙にあそび、世界には
2019年9月7日～11月4日

銀座松屋で開催された「萩尾望都 ポーの一族展」(7/25～8/6開催)にチラシを設置。アート雑誌『芸術新潮』7月号では、90ページにおよぶ「萩尾望都特集」の掲載があるという情報を事前に入手したため、編集部に働きかけを行い、当館の展覧会情報も掲載となった。いずれも萩尾望都ファンへダイレクトに届けられたのではと反応を期待している。



銀座松屋チラシ設置

『芸術新潮』7月号

指定管理者活動トピックス

2-1 展覧会観覧者誘致のための広報活動

ミレー「種をまく人」初の海外貸し出し
2019年9月24日～2020年1月

ミレー作品の貸し出しはこれまでも経験があるが、今回初の海外貸し出しということから、話合いを重ねた。ニュース・リリースを県内外の報道機関に配信し、単に貸し出すというニュースにとどまらず、どのように梱包し、どう送り出すかというところを実際に見て頂くことで「貸し出す」ことそのものが美術館にとっての一大イベントであることを知っていただいた。当日はテレビ・新聞合わせて6社7部の取材を獲得。貸し出し期間中に展示されるゴッホ作品まで取材いただいた。これにより、ミレーの「種をまく人」の存在や価値をあらためて意識してもらうことを期待している。



県立美術館所蔵 ミレー代表作
「種をまく人」オランダへ
初の海外貸し出し

取材獲得先
山梨放送・テレビ山梨・山梨日日新聞
読売新聞(本社・山梨)
朝日新聞・毎日新聞

指定管理者活動トピックス

2-2 観光資源としての魅力アピール

旅行誌『まっぷる 山梨』への広告、JAL機内誌『JAL Skyward』、雑誌『和楽』記事掲載

県外からのお客様の半数近い方の来館きっかけが「口コミ」によるものであることから、広報活動も展覧会の広報という観点からだけでなく、観光資源としての美術館を今後も新聞、雑誌、旅行社へアピールし、口コミに繋がりたいと考える。よって、今年も旅行誌「まっぷる」へのタイアップ広告を実施したほか、JALの機内誌『JAL Skyward』や雑誌『和楽』の取材を積極的に受けるなど、露出の機会を広めるべく活動した。また、9月にはやまなし観光推進機構が主催する「山梨県観光商談会」へも東京会場のほか、大阪、名古屋会場へも足を運び、大手旅行代理店やバス会社にツアー企画で来館いただけるようPR活動を実施した。



指定管理者活動トピックス

2-2 観光資源としての魅力アピール

<レストラン> 特別展をイメージしたメニューの企画

レストラン「アート・アーカイブス」では、リピーターのお客様にも飽きさせないメニューの工夫として特別展をイメージしたメニューを企画している。特別展「黄昏の絵画たち」展では、夕日をイメージする色彩の「トマトたっぷり 夏の冷製パスタ」を提供した。



トマトたっぷり夏の冷製パスタ

指定管理者活動トピックス

3-1 賑わいの創出による地域の活性化

- ・「令和元年度 芸術の森茶会」開催（6月16日）
- ・「七夕ワークショップ2019 五色の短冊に願いを込めて」（7月2日～7月14日）

茶道連合会に協力いただき、「芸術の森茶会」を開催した。本年度より参加費300円を徴収する形となったが、60名のお客様に参加いただき、楽しんでいただいた。

7月には夏の季節イベントとして恒例となった「七夕ワークショップ」をエントランスにて開催した。来館者に短冊に願い事を書いてもらい飾り付けるほか、七夕の由来などを「解説パネル」にして展示した。短冊は文学館と合わせて1,181枚集まり、展示後は山縣神社へ奉納した。



芸術の森 茶会



七夕ワークショップ

指定管理者活動トピックス

3-1 賑わいの創出による地域の活性化

- ・「かぞくで、アートたいむ」開催（7月27日）
- ・特別展「黄昏の絵画たち」記念コンサート（7月14日）
- ・特別展「萩尾望都展」記念コンサート（9月22日）

つなぐNPOと連携し「かぞくでアートたいむ」という、ご家族連れで会話をしながら鑑賞いただけるイベントを企画した。参加者には隊員証と小さなファイルブックが配られ、展示作品をより細かく見ていただけるよう間違い探しの絵や、絵画の一部を切り取ったものがどの名画の破片か探してもらうなど、お子様の美術館デビューのハードルを下げ、ゲーム感覚で楽しんで頂いた。

また、特別展にあわせクラリネット・チェロ・ピアノの三重奏を「特別展記念コンサート」として開催した。出演者には展示内容をイメージできる楽曲を選んで演奏いただき、258名のお客様に鑑賞いただいた。（7/14）



「かぞくで、アートたいむ」



特別展記念コンサート

指定管理者活動トピックス

4-1 施設維持管理会社が共同事業体へ参画 4-2 安定した施設管理

- ・甲府ビルサービス株式会社、共同事業体へ参画
- ・火災報知システム 操作勉強会実施（美術館7月1日、文学館9月24日）
- ・屋根からの漏水修繕工事实施（ショップ前通路）

指定管理第3期より指定管理者は「SPS・桔梗屋・KBS共同事業体」となり、施設維持管理を担当していた甲府ビルサービス株式会社が、共同事業体へ加わった。

火災報知機が誤作動した際に早急に対処できるよう、県職員も含めた事務所スタッフを対象とした火災報知システムの操作勉強会を実施した。美術館は作品を守るための窒素ガスによる消火設備を保有しているが、誤った操作をすると人体に影響がでるため、システムの理解と手順を学んだ。

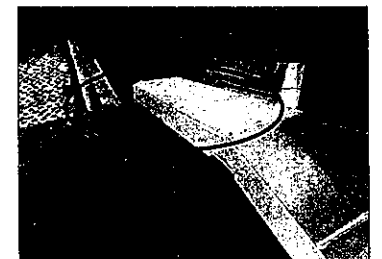
大雨の際に発生した漏水の原因を調べたところ、本館と南館の接続部分の隙間に風で巻き込まれた水が漏れていることが判明。隙間を狭め、止水版を設置し、修繕を完了した。



共同事業体新体制



勉強会



修繕完了（笠木隙間10mm）

指定管理者活動トピックス

5 下期に予定している活動

基盤整備・運営面	広報・自主事業
▶ 消費税改正に伴う対応	▶ ミュゼ・マルシェ (11/30、12/1)
▶ 避難訓練 (10月)	▶ かぞくでアートたいむ (7)
▶ ロビーコンサート (毎週日曜日)	▶ クリスマス・コンサート (12/22)
	▶ 野外彫刻探検ツアー
	▶ 正月イベント〔獅子舞〕 (月)
	▶ ニューイヤーコンサート (月)

終わり